

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No.21 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第65回例会 昭和58年11月22日(火)晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 50(49)名 出席 31名
出席率 63.27%

◇前回 11月15日(修正出席率) 97.96% make up

秋山君(11/18北), 青山君(11/14中), 安藤君(11/21空港), 古川君(11/15名東), 浜口君(11/21空港), 林君(11/19守山), 堀場君(11/12守山), 加藤(敏)君(11/21空港), 加藤(保)君(11/14東), 黒野君(11/15名東), 黒須君(11/17西), 尾関君(11/12守山), 鈴木(正)君(11/10東南), 手島君(11/15名東), 寺澤君(11/12守山), 都築君(11/12守山), 矢野君(11/15名東)

◇誕生日祝福

松居君(11/25)

◇ニコボックス

林君(ホームクラブ御無沙汰しました), 松居君(誕生日祝), 大谷君(結婚記念祝)

◇三輪幹事報告

1. 本日例会終了後, 次年度理事役員の指名委員会を2F橋の間で開きます。指名委員の方はお残り下さい。
2. 次回例会終了後, 理事役員会を行いますので理事役員の方はお残り下さい。

◇竹内会長挨拶

所用のついでに久しぶりに古本屋をブラブラしてましたら珍しい本に会いました。昭和17年版で黄色く紙質が変色し戦後生れの人達がみたら「何かいな」と思うような本です。戦中派の私には懐かしくて購入して来てペラペラ眺めた次第です。その中に『新聞読者の三態』という項目がありましたので少し御紹介してみます。『特に新聞記者仲間では新聞を国家内の『強国』と言いたがる習慣がある。実際新聞の意義は何ととっても巨大である。それは如何に評価しても評価し過ぎることはない。大体において新聞の読者を3つのグループに分けることができる。その第一

は読んだものを全部信じるもの, 第二は最早全然信をおかぬとするもの, その第三は読んだものを批判的に検討してしかる後に判断を下す頭脳のあるもの…である』とあります。

『第一のグループは数からいって圧倒的多数を占める。国民中の大衆からなり精神的に最も単純な部類に属する。しかしそれを職業別に挙げることはできぬ。強いて言えば頭の程度によって区別することができる。ここに属するものは自分で物を考えるように生れついてもいなければ, 又そのように教育もされていないもの達で, 一部は無能から一部は不能から白地に黒く印刷して与えられたものはことごとく信用する連中である。更には自分に思考能力がある癖に全くの考え嫌いから他人の考えたことを何もかも有難く頂戴してしまう種類の怠け者もこの中に入る。

ところで大衆を表象するこの種の人々にとっては新聞の影響は全く素晴らしい。彼等は自分に提供されたものを自ら検討することもできないし, 検討する意志もないのだから。日々の出来事一切に対する彼等の見解は, 一から十まで殆んど専ら他方からの外部的影響に帰せられる。これは彼等の啓蒙が真面目で真実を愛する方面から行われる場合は有利であるかも知れぬが, この啓蒙が無頼の徒や嘔吐きの手にかかった場合は禍である。

第二のグループは数においてずっと少なくなる。彼等の一部分は初め第一のグループに属していたが, 長い間苦しい幻滅を味わった後, 今度は正反対に変わって苟くも印刷され眼に触れるものは頭から信用しなくなった分子から成り立っている。

最後に第三のグループはぐっと下って数は最少である。

これは生れつきの素質と教育によって独立に考えることを学び, 何事にも自分自身の判断を作ろうとし, すべて読んだものを今一度根本的に検討して自らの判断を加えるといった精神的に真に洗練された頭脳の持主から成り立っている。彼等が新聞を読めば必ず自分

の頭脳も絶えず平行に働かせるので編集者には厄介で大変な連中だ。新聞記者はこういう読者を実はあまり好まない。

勿論この第三のグループにとっては新聞が^{てつ}捏ち上げるノンセンスも殆んど危険はない。あるいは逆に意味があるとさえ言える。彼等は大概その生涯において新聞記者というものは原則として時偶にしか本当のことを言わぬ悪戯者だということに慣れているからだ。だが遺憾ながらこういう素晴らしい人達の意義はその知性にあるのでその人数にあるのではない。——残念なことに分別が物を言わず頭数が一切であるような時代では誠に不幸なことである——大衆の投票用紙が物事を定する今日、決定的な価値は最も人数の多いグループにある。そしてこれが実は第一のグループ即ち愚直者、又は軽率に信じてしまう者達の群なのだ。

以上御紹介申し上げましたのがこの古本の中での新聞読者に対する分析です。右寄の方も左寄の方もこの分析には可成り共鳴なさる点が多いのではないのでしょうか。

だから「どうするのか」「何を主張したいのか」と仰言られると私としては困りますが、唯一言（それだからこそ、新聞とか電波の背負う責任は重い）と思うのです。RCの4 way testの中での「truth」と「fair」に対する英知に基づく判断が求められます。正に「両刃の剣」とは「マスコミ」と同義に考えてよいであります。

皆様は只今の会長挨拶をどう思ってお聞きになりましたか。実はこの古本の著者は“A. ヒットラー”

書名は“meinkampf（我が闘争）”と申します。

◇新美親睦活動委員長より報告

先にご案内の通り来る12月14日ナゴヤキャッスルホテルに於いて当クラブ最大の親睦行事であります年末家族懇親会を開催する運びとなっておりますが、今年初めて当クラブが単独にて企画いたしました。当クラブが将来共益々よきクラブとして発展していくために最も必要な栄養価の高いプログラムであります。草花にも良質な肥料が求められ花が実が熟するように、クラブのいろいろな催物に数多くご参加頂き良い土壌づくりに務めることこそ私達会員に課せられた義務であろうかと考えます。

親睦活動資料に「初めから親睦はロータリーの原動力でありました。あなたのクラブにおいて親睦を活発ならしめるよい方法は、ポールハリスが他の人との交際を求めたことからロータリーが誕生したのであるという事実

から奉仕の理想ができたのであります」と記されております。

これは前会長の「和」竹内会長のよく言われます「ラベルボタンメンバーになってはつまらない」とのお話が正にこのことを指しているものと思います。

お互いの職柄を理解し、クラブにおける役務を尊重し感謝の気持を持つことによって友愛の輪を広げ、それぞれの持つ知識と経験を生かし私達クラブに尚一層の貢献されんことをお願いする次第です。以上のように未だ新生児である私共クラブに今必要な糧とご理解下さいまして全会員並にご家族の方々の積極的なご参加をお願い申し上げますと共に私共親睦活動委員一同微力ではございますが力一ぱい努力してまいりますので皆様の温いご支援ご協力の程伏してお願い申し上げます。

◇林国際奉仕委員長より報告

日頃ロータリー財団の御協力ありがとうございます。国際理解と親善をはかるためにも足もとを固める柱としてロータリー財団に力を入れることが当委員会の信念と考えています。ロータリー財団寄与率2,200%という高成績で松本での年次大会でも表彰されましたが、今回新たに皆さまに呼びかけたところ、ポールハリス3名、準ポール21名が誕生し、達成率も3,000%になりました。今後とも皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。

又1984年、国際大会が英国のバーミンガムで開かれます。ご案内をお手許に配りましたように国際ロータリーの雰囲気を楽しむにも好適かと思われれますので是非御検討いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

◆新制作座フェスティバルのご案内

来たる12月13日（火）、午後2時／6時より、社会福祉・青少年健全育成チャリティ公演を行います。新制作座の人間性豊かな芸術の創造は高い評価が与えられており、今回のチャリティ公演でも主宰真山美保さんをはじめとする団員の皆さんの精魂をこめた素晴らしい舞台がくり広げられます。会員の皆様の御支援御協力をお願いいたします。

前売券 特等 6,000円 一等 5,000円

二等 4,500円 三等 3,000円

場 所 愛知厚生年金会館にて

◇次回例会（11月29日）

講演 “私の留学生活とその後”

会員 深見 章 君

◇次々回例会（12月6日）

講演 “私の生産家業について”

会員 原 富士雄 君

講演 “私のニューヨーク生活体験”

会員 堀江 宏輝 君